

した。

1618年、西根郷の村役人佐藤新右衛門が中心となんて湯野のすり上川から、桑折、伊達崎までの約20kmの用水路をひきました。この用水が下堰したぜきです。16か村の農民の水不足の不安がなくなりましたが、もともと水田だったところなので、新しい田を開くことにはなりませんでした。

そこで、もっと上流の穴原あなばらから水をひき五十沢のほうまで流すことを考えました。この仕事の中心になったのが古河善兵衛と佐藤新右衛門の2人です。

穴原の方は両岸が岩のため、水の通り道をつくるのはよいなことではありませんでした。岩がかたくてトンネルがほれない所は、川岸のがけのかべをほってといをかけ水が流れるようにしたり、ひくくなるところは、今のサイフォンの仕組みを取り入れたりしながら工事を進めていきました。この用水路は上堰うわぜきと呼ばれ、約8年の年月をへて1632年に完成しました。



はなげのずいどう（飯坂町湯野）



かたがりの難所（飯坂町湯野）

西根堰関係年表

年	できごと
1577	古河善兵衛生まれる。
1598	上杉氏、会津若松城主となる。 (120万石)
1600	関ヶ原 <small>たたが</small> の戦い。上杉氏、米沢へ移封され30万石にへらされる。
1604	領内 <small>りょうない</small> に開こんの命令を出す。 「堰 <small>せき</small> 」をつくる工事が始まる。
1609	↷
1618	村役人、佐藤新右衛門が「下堰 <small>したぜき</small> 」をつくる工事を始める。
1624	古河善兵衛、佐藤新右衛門が「上堰」をつくる計画を立て、上杉氏のゆるしをえる。
1625	「上堰 <small>うわぜき</small> 」の工事が始まる。
1632	「上堰」が完成する。
1633	上堰取水口に古河善兵衛の業績 <small>ぎょうせき</small> をたたえる碑がたてられる。
1637	古河善兵衛、佐藤新右衛門ともに9月に死亡 <small>しぼう</small> 。
1736	福島市康善寺境内 <small>こうぜんじけいだい</small> に、善兵衛の墓がたてられた。
1751	湯野村に善兵衛をたたえる碑がたてられる。
1847	摺上川 <small>すりかみ</small> の水位が下がり、水の取水口を500m上流の現在の位置にうつす。
1884	西根郷2,058戸の住民によって西根神社がたてられる。
1960	西根堰 <small>かいはうこうじ</small> の改修工事が始まる。
1963	藤倉ダムが完成する。
1967	改修工事が終わる。 (全工費8億円)

きょう土を開いた人々